

ピーマン



有機栽培設計例（10アール当り）

1. 基肥

銘柄	10R施肥量	備考
完熟堆肥	5 リューベ	必ず完熟のものを利用すること。
TB21エース	60 kg	微生物土壌改良資材 病気予防
微量要素 貝化石	200 kg	土壌安定化に。アルカリ資材。
ニーム顆粒	60 kg	自然植物資材(ニーム) 虫予防
TBボカシ肥料	300 kg	茶葉・糠が主体。NPKが3:4:3。
苦土資材	kg	例: マグアース2号 水溶性苦土53%。60kg。

2. 土壌調整

酸性土壌の場合、PH調整のため貝ガラ石灰5袋(100kg)を施与。

3. 施肥畝立

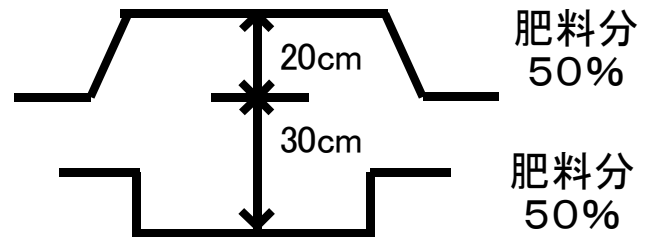
基肥を2段深耕で施肥する。

右図のように、

下段に50%、上部に50%を施肥。

畝幅80cm、株間40cmの1条植え。

【注意】 未熟堆肥を使用した場合、発酵して根が焼けることがあるので注意すること。



4. 病虫害対策

◆葉面散布◆

活性微生物(病気抑制) クリーンTB21リキッド(2000倍希釈)

植物オイル(害虫抑制) ニームオイルアクト(1000倍希釈)

鉱物微量元素(成長促進) 天然ミネラル-1(4000倍希釈)

5. 追肥

定植1ヶ月後に1回、以後1ヶ月ごとに有機液肥等を施与する。但し、収穫盛期には施肥間隔を短縮する。